

開 議

○平 進介委員長 おはようございます。

これから予算特別委員会を開きます。

本日の会議に欠席の通告委員は、11番、赤間泰広委員の1名であります。よって、ただいまの出席委員は定足数に達しております。

それでは、去る6日の本会議において予算特別委員会に付託になりました補正予算案1件について審査を行います。

なお、審査日程につきましては、既に配付されております会議日程表のとおりでありますので、ご協力をお願いいたします。

議案第39号 令和4年度長井市一般会計補正予算第3号

○平 進介委員長 それでは、これから議案第39号 令和4年度長井市一般会計補正予算第3号について概要の説明を求めます。

佐藤 久財政課長。

○佐藤 久財政課長 おはようございます。

それでは、私のほうから、議案第39号 令和4年度長井市一般会計補正予算第3号の概要についてご説明申し上げます。

第1条、歳入歳出予算の補正につきましては、予算の総額に歳入歳出それぞれ2億1,470万6,000円を追加し、予算の総額を185億257万8,000円とするものでございます。

款項ごとの金額につきましては、2ページ、3ページの第1表のとおりでございます。

次に、事項別明細書によりご説明いたします。

6ページにお進みください。歳入でございま

す。14款1項国庫負担金は、新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金で4,380万7,000円の増額。

14款2項国庫補助金は、1目でデジタル田園都市国家構想推進交付金など、2目では子ども・子育て支援交付金など、3目では新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金で、項の合計は1億2,793万2,000円の増額。

15款2項県補助金は、下のページ、担い手確保・経営強化支援事業費補助金などで、項の合計は1,293万6,000円の増額。

18款2項基金繰入金は、財政調整基金繰入金で2,655万9,000円の増額。

20款4項雑入は、コミュニティ助成事業助成金など347万2,000円の増額でございます。

8ページにお進みください。次に、歳出でございます。2款1項総務管理費は、オリンピック・パラリンピックホストタウン事業などで932万9,000円の増額。

3款1項社会福祉費は、子育て世帯等臨時特別支援事業で1,030万円の増額。

下のページ、3款2項児童福祉費は、新型コロナウイルス感染症対策事業で1,210万円の増額。

3項生活保護費は、新型コロナウイルス感染症セーフティーネット強化交付金事業で302万9,000円の増額。

10ページ、4款1項保健衛生費は、新型コロナウイルスワクチン接種事業などで7,826万9,000円の増額。

下のページ、6款1項農業費は、3目で担い手育成・確保等対策事業など、項の合計は997万7,000円の増額。

7款1項商工費は、21万2,000円の増額。

12ページ、8款2項道路橋りょう費は、道路維持管理事業で9,020万円の増額。

9款1項消防費は、財源更正のため予算の増減はございません。

10款4項社会教育費は、63万円の増額。

下のページ、10款5項保健体育費は、66万円の増額でございます。

以上が令和4年度長井市一般会計補正予算第3号の概要でございます。よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

令和4年度長井市一般会計補正予算案に関する総括質疑

○平 進介委員長 概要の説明が終わりました。

これから質疑を行います。

ここで、総括質疑の発言通告がありますので、ご指名いたします。

勝見英一朗委員の総括質疑

○平 進介委員長 議席番号2番、勝見英一朗委員。

○2番 勝見英一朗委員 8款2項2目道路橋りょう維持費、004道路維持管理事業9,020万円について(6)を市長に、(1)から(5)までを建設課長に伺います。

この事業につきましては、5月23日の産業・建設常任委員会協議会の後、6月17日の同協議会においてさらに説明があり、結果、質問の中には説明を受けたところも出てまいりましたが、若干の文言の修正をするものの、通告どおりの文意で質問させていただきます。

最初に申し上げておきますが、私は、本市のような地方都市にとって実証実験などは、積極的に取り組むべきことだと思っております。米沢市の知人が長井市はいろんなことをやっていると、いいですねと言っておりました。社会の変

化に先行する取組は、メディアを通して発信されることも多く、本市の活力と魅力を高める役割も果たします。なおさら補助率の高い事業は、取り組む価値はあると考えております。ただ、それを前提としながらも、902万円の一般財源の支出を伴う以上、十分な理解は必要と思いますので質問させていただきます。

まず最初に、建設課長にお伺いいたします。

この事業は道路障害等判別システム導入委託料ということですが、今回の交付金事業に応募することとなった理由と経過はどうだったのでしょうか。また、委託先となる事業者を今後どのように選定される予定なのでしょうか。

○平 進介委員長 小林克人建設課長。

○小林克人建設課長 お答え申し上げます。

当交付金事業に応募することになった理由と経過でございますが、近年の気候変動に伴う豪雨災害等によりまして浸水被害の発生や積雪に伴う道路障害によりまして市民生活に大きな影響を受けておるところでございます。

また、路面劣化に伴うひび割れ、また陥没によりまして例年一、二件ほどのパンク事故等が発生している状況でございます。

そのような背景の中で、道路管理者といたしまして道路の破損状況、また除雪状況等をいち早く察知いたしまして、安心・安全な市民生活を守ることが求められていると考えてございます。

しかし、道路管理の人員が1日で市内をパトロールできる範囲も限られてございまして、市民からの通報や事故が起こった事後に対応することも多々発生している状況でございます。

迅速に道路管理を行いまして、1年を通して市民からの依頼、要望等に応えるためには、パトロール以外の方法でも現場の状況を可視化できる仕組みを必要としているところでございました。

こうした中で、デジタル田園都市国家構想推